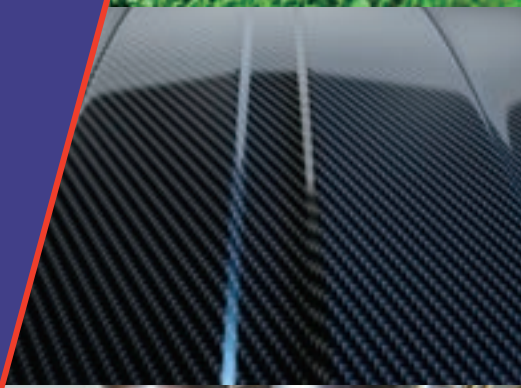
第79期 報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで



世界中のものづくりの
課題解決屋になる

リックスグループは、
“販売・技術・製造・サービスの高度な融合”と
パートナーとの“協創”により、
世界の産業界の課題解決のための
ソリューションを提供します。

RIX リックス株式会社

証券コード：7525

世界中のものづくりとネットワークを繋ぐ・創る

「メーカー商社」として4つの機能を融合

「メーカー商社」としての強み・優位性

Good! **技術力がある**
（自社工場と研究開発施設保有）

×

Good! **取扱品数が多い**
（仕入先約2,600社 商品数約3,000種）

＝

様々な顧客のニーズに応える
高い課題解決力

当社のみが取扱い・販売できる「オリジナル品」

当社商材区分と「オリジナル品」

「オリジナル品」とは、自社製品・グループ会社製品・専売仕入品など、当社のみが取り扱いでき販売できる品群です。

01 自社製品	自社工場でつくる製品 例：ロータリージョイントなど	「オリジナル品」
02 グループ会社製品	当社グループ会社がつくる製品 例：バルブなど	
03 専売仕入品	当社が独占販売権を持つ仕入品 例：海外製インバータなど	
04 一般仕入品		

なぜ「オリジナル品」を重要視するのか

Good! **優位性・独自性が高い**

Good! **顧客課題の解決に繋げやすい**

Good! **メーカー機能強化で海外に打って出やすい**

Good! **利益率が高い**

「メーカー商社」として

事業紹介ページを
リニューアルしました

競争力・優位性・独自性があることで 利益率が高く、海外にも展開可能

「オリジナル品」の一例のご紹介

自社製品ARASEN
(EV・HEV製造工程用)

自社製品D-RAT
(EV・HEV製造工程用)

自社製品エネミックス
(ポータブルハイブリッド電源)

自社製品洗浄装置

専売仕入品
インバータ(海外製)

自社製品
ロータリージョイント

グループ会社製品
加硫機用バルブ

国内外における 幅広い産業界の課題を解決

高い専門性で顧客密着

Point! 文字通り“顧客密着” 顧客工場近くに営業所

- 国内40か所、海外7か国12か所に拠点を展開
- いずれも顧客工場の近くに展開し、素早く対応

Point! 作業着の汚れは勲章。現場に深く入り込む

- 営業担当は作業着を着て顧客工場に入り込む
- 生の現場を見ることで課題や情報を収集
- 時には顧客と同じように作業着を汚すほど現場密着

Point! 115年で紡いだ顧客との信頼関係

- 創業115年以上で培った顧客との関係性で、ほかの商社では知り得ない情報を先回りで獲得
- 課題はチャンス。解決することで更なる信頼関係を構築

トップインタビュー

ごあいさつ

株主の皆様には、平素よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第79期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）における業績のとりまとめを終えましたので、ここに第79期報告書をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役　社長執行役員　**安井　卓**

「協創型メーカー商社」として社内外連携を強化し課題解決力を高め、新たなオリジナル品の供給やビジネス領域の拡大に取り組んでまいります。

Q 当期の営業概況について教えてください。

A 前年同期比で、売上高は10.0%増の547億27百万円、営業利益は9.5%増の38億82百万円、経常利益は6.7%増の41億97百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2.2%増の28億41百万円となりました。

当連結会計年度における世界経済は、米国ではAI関連向けに設備投資意欲の高まりが見られた反面、その他の製造業での設備投資には陰りが見られており、中国では好調であった輸出関連に陰りが見られる等、地域及び需要分野によって景況感に差が見られました。

また、日本経済は、訪日外国人数が継続して過去最高を記録しており、サービス産業は底堅く推移しました。製造業については、為替変動や原材料価格の高騰、米国の関税政策動向等の影響を受け、先行き不透明な状態が見られました。

このような経済環境の中、当社グループでは中期3ヵ年計画「GP2026」に基づく施策に取り組んだ結果、2025年3月期連結業績は、売上高547億27百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益38億82百万円（同9.5%増）、経常利益41億97百万円（同6.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益28億41百万円（同2.2%増）となりました。

Q 当期のセグメント別事業の概況について教えてください。

A 継続して大多数のセグメントで増収基調ないしは二桁%増の増収となりました。

鉄鋼業界向けでは、海外市場の更なる開拓に加え、生産比例品のみならず整備部門への営業活動にも注力した結果、製鉄所内設備の老朽化に伴う保全工事案件や整備部門向け自動化に伴う機器の更新案件、圧延工程向け機械設備の能力増強案件等により、売上が増加しました。この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は156億33百万円（前年同期比11.8%増）、セグメント利益は20億6百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

自動車業界向けでは、CASE市場で注目されている電池やモーター分野への営業・提案活動に注力した結果、電池製造工程向け設備機器の販売や自動車部品メーカー向け設備機器類の販売、品質管理部門向けへの検査装置の販売等により、売上が増加しました。この結果、自動車業界向け全体としての売上高は117億23百万円（前年同期比12.7%増）、セグメント利益は13億円（前年同期比4.3%増）となりました。

電子・半導体業界向けでは、修理・再生ビジネスに加え、現場・設備・保全部門に対する営業活動に注力した結果、当社オリジナル品である洗浄装置類の販売や湿式微粒化装置の販売等により、

売上が増加しました。この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は74億6百万円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益は8億90百万円（前年同期比21.8%増）となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、開発部門への営業活動に加え、設備投資に関する営業活動に注力した結果、ユーティリティ関連の老朽設備更新案件や設備投資のリピート案件等の好調な要因はあったものの、第1四半期の落ち込みを埋めるまでには至りませんでした。この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は38億70百万円（前年同期比2.3%減）、セグメント利益は4億15百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

工作機械業界向けでは、工作機械の5軸化・複合化の要求に対応する用途開発・機器の営業に加え、付帯設備の拡販活動に注力した結果、当社オリジナル品である多ポートのロータリージョイントの販売が増加したことや海外向けポンプ類の販売等により売上を確保しましたが、低迷する工作機械業界の影響を受けた形となりました。この結果、工作機械業界向け全体としての売上高は23億20百万円（前年同期比5.0%減）、セグメント利益は5億2百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

高機能材業界向けでは、医薬・化粧品分野の開拓に加え、既存客先への深耕に注力した結果、新設される工場向けの排ガス処理設備案件や樹脂製品製造工程向けに回転機械をスペックインしたこと等により、売上が増加しました。この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は25億39百万円（前年同期比18.9%増）、セグメント利益は2億67百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

環境業界向けでは、近年重要視されている環境及びエネルギー産業、水処理関連事業への深耕に注力した結果、排水処理工程向けのフィルター類の販売やごみ処理施設向けへのフィルター類の販売等により、売上が増加しました。この結果、環境業界向け全体としての売上高は30億45百万円（前年同期比30.4%増）、セグメント利益は2億95百万円（前年同期比44.1%増）となりました。

紙パルプ業界向けでは、バイオマス素材であるCNF分野やエネルギー・ケミカル素材分野、既存設備のメンテナンス事業への深耕に注力した結果、抄紙工程向けに当社オリジナル品であるロータリージョイントの更新案件等で売上を確保しましたが、前年同期に発生した特需が今期にはなく、売上が減少しました。この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は9億18百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益は1億6百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

Q 今後の経営ビジョンなどについて教えてください。

A 2026年3月期連結業績の見通しにつきましては、売上高570億円、営業利益39億90百万円、経常利益40億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益28億50百万円を見込んでおります。

日本経済は緩やかな回復基調を維持するものの、外部環境の不確実性が成長の重しとなっています。国内においてはインバウンド需要の増加が続くことや、世界の動向と連動してAI関連半導体需要が拡大することが経済にプラスに寄与すると思われます。一方で米国の関税引上げ政策が自動車業界をはじめ企業収益に悪影響を及ぼすリスクがあり、経済に不確実性をもたらしています。

このような中、当社グループでは中期経営計画「GP2026」に基づき、当期に引き続き「協創型メーカー商社」として社内外連携を強化し課題解決力を高め、ビジネス領域の拡大に取り組んでまいります。

以上のことから、2026年3月期連結業績の見通しにつきましては、売上高570億円（前年同期比4.2%増）、営業利益39億90百万円（同2.8%増）、経常利益40億80百万円（同2.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益28億50百万円（同0.3%増）を見込んでおります。

Q 株主様へのメッセージをお願いします。

A 連結株主資本配当率4.5%以上かつ連結配当性向40%以上を、2026年3月期の中間配当から新たな配当方針として設定いたします。

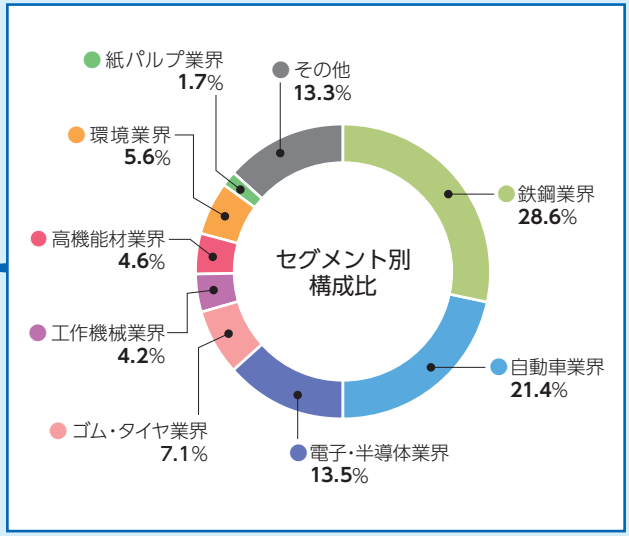
当社では連結配当性向40%を目標として、経営成績に応じた配当を行うことを基本方針としております。当方針の下、当期末配当金は1株当たり88円とさせていただきました。これにより年間配当金は1株当たり141円となります。

なお、2026年3月期の中間・期末配当からは、連結株主資本配当率（DOE）4.5%以上かつ連結配当性向40%以上を目標として、安定的な配当を実施いたします。株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

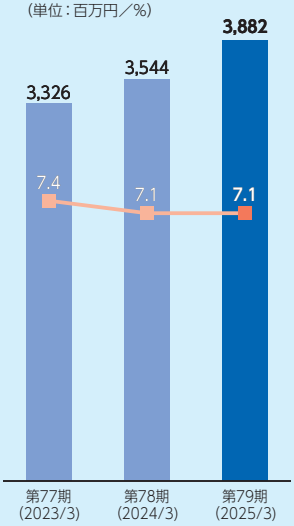
売上高

(単位：百万円)



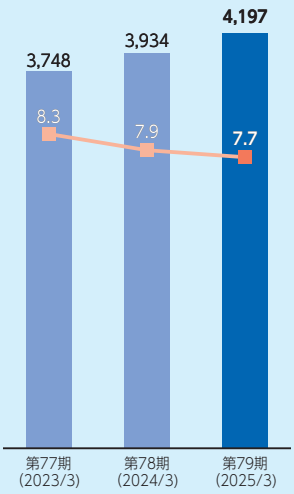
営業利益
売上高営業利益率

(単位：百万円／%)



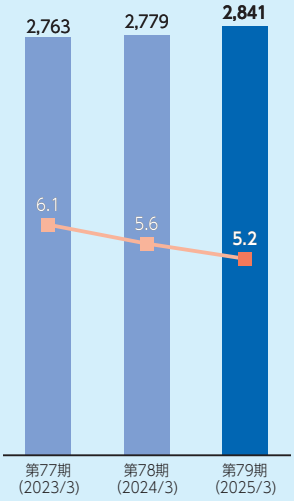
経常利益
売上高経常利益率

(単位：百万円／%)



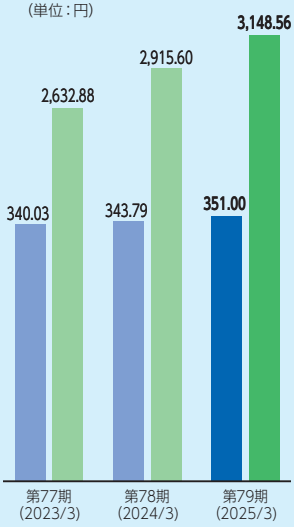
親会社株主に帰属する当期純利益
売上高当期純利益率

(単位：百万円／%)



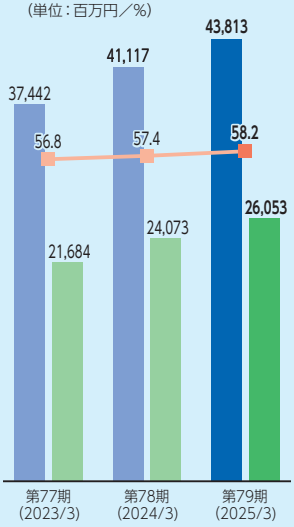
1株当たり当期純利益
1株当たり純資産

(単位：円)



総資産　純資産
自己資本比率

(単位：百万円／%)



中期経営計画「GP2026」
(RIX Growth Plan)

当社グループは、2024年度より中期3ヵ年計画「GP2026」を下記の通り策定しました。社会課題の解決と経営目標の達成に向かって全社一丸となって取り組んでまいります。

当社グループのあるべき姿	世界中のものづくりの課題解決屋になる
当社グループのビジョン	リックスグループは、“販売・技術・製造・サービスの高度な融合”とパートナーとの“協創”により、世界の産業界の課題解決のためのソリューションを提供します。
定量目標 2026年度	連結売上高 600億円 / 連結営業利益 45億円 / 連結経常利益 47億円

「GP2026」を達成するための4つの軸

01 ビジネス領域の拡大(連結売上高600億円)

- 現状の業界・業種(525億円)
- 成長分野(75億円)
- 海外(600億円のうち96億円)

02 収益性の向上

- 営業利益率7.5%以上・ROE11%以上(事業活動の効率化)
- オリジナル品比率40%以上(新製品・新商品開発)

03 人材・組織の強化(全体最適・スピードアップ)

- ライフ・ワーク・バランスの充実
- RIXing Actionを実践できる人材の育成・定着
- 協創センターをフル活用する仕組みづくり
- 新システムへのスピーディーな移行

04 ステークホルダーリレーションズの充実

- CSV-Creating Shared Value ビジネスを通じた社会貢献の実行
- ステークホルダーとのコミュニケーション活性化
- ガバナンス体制の強化に向けた取り組みの推進

前・中期3カ年計画「GP2023」から新規で追加・変更した箇所

リックス協創センター稼働

オリジナル品開発のため協創を推進

新製品の研究開発を行う「リックス協創センター」が2024年11月に開所しました。同センターでは、顧客・ベンチャー企業・大学など様々なパートナーと協力して創り上げる“協創”を重要視した研究開発を行っていきます。すでに進行中の案件をご紹介します。

01 水素試験機の研究開発

産業界での水素エネルギー活用を促進する試験機を、九州工業大学との協創で生み出しました。リックス協創センターの一室で試験を請け負う予定です。

詳細はこちらから

02 培養装置の研究開発

食料不足を解決するため、当社の流体制御技術を生かした培養装置を九州大学と共同で研究開発中です。「安い・安心・安全」な代替肉を生み出すことに貢献します。

詳細はこちらから

研究開発を開始　株主様向け見学会も初開催

03

株主様向け施設見学会

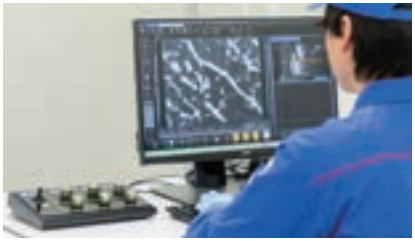
2025年3月13日に株主様向け施設見学会(リックス協創センター・福岡工場)を初開催。

福岡県内外から23名の株主様にご参加いただきました。参加者のご感想を紹介します。

工場で製品を生で見ることができて理解が深まった。従業員の方の説明も丁寧だった。

なぜ陸上養殖や食分野に?と思っていたが、新分野に挑戦して利益を出そうとする姿勢に好感を抱いた。

リックス協創センター内部紹介



リックス協創センター
PR動画はこちらから

リックスグループネットワーク

海外ネットワーク

（2025年4月1日現在）

国内ネットワーク

（2025年4月1日現在）

本社	★管理本部、企画本部、アジア・ヨーロッパ営業統括部、海外営業部
営業本部	■グローバル営業本部
営業所	●自動車事業部 豊田営業所、西尾営業所、小倉営業所
	●鉄鋼事業部 鹿嶋営業所、千葉営業所、君津営業所、東海営業所、和歌山営業所
	●東部営業部 苫小牧営業所、北上営業所、仙台営業所、宇都宮営業所、埼玉営業所、東京営業所、西東京営業所、横浜営業所、平塚営業所、富士営業所、名古屋営業所、北陸営業所、豊橋営業所、四日市営業所
	●西部営業部 滋賀営業所、大阪営業所、加古川営業所、姫路営業所、倉敷営業所、広島営業所、福山営業所、周南営業所、四国営業所、北九州営業所、福岡営業所、長崎営業所、大分営業所、熊本営業所、鹿児島営業所
工場	■福岡事業所 生産本部
研究・開発所	▲中部テクニカルセンター ▲NB開発本部　横浜事業所 ▲リックス協創センター

会社概要

（2025年3月31日現在）

商号	リックス株式会社
英文社名	RIX CORPORATION
創業	明治40年（1907年）10月
設立	昭和39年（1964年）5月
資本金	8億2,790万円
従業員	486名（連結765名）
主要な事業内容	流体応用機器・設置製造販売/ 精密自動・計測機器販売/製鋼副資材等販売

取締役及び監査等委員である取締役

（2025年6月26日現在）

代表取締役 社長執行役員	安井　卓	取締役 （常勤監査等委員）	中山　真一
代表取締役 副社長執行役員	柿森　英明	取締役 （監査等委員）	植松　功(*)
取締役 上席執行役員	大釈　賢司	取締役 （監査等委員）	大山　一浩(*)
		取締役 （監査等委員）	佐藤　佳奈子(*)

(*) 社外取締役

株式の状況

（2025年3月31日現在）

- 発行可能株式総数　27,600,000株
- 発行済株式の総数　8,640,000株
- 株主数　9,551名
- 大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
NOK株式会社	1,089	13.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	533	6.58
リックス取引先持株会	354	4.37
リックス従業員持株会	246	3.04
安井玄一郎	246	3.03
株式会社西日本シティ銀行	191	2.36
園田和佳子	171	2.11
山田貴広	162	2.01
国立大学法人九州大学 総長 石橋達朗	130	1.60
安井龍之助	129	1.60

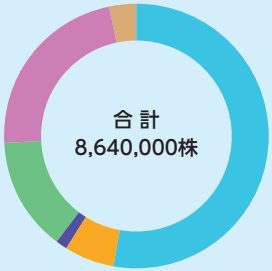
注）1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式530千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況

（2025年3月31日現在）

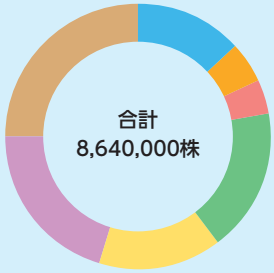
所有者別株式分布状況

個人・その他	53.00%
自己株式	6.14%
金融商品取引業者	1.26%
金融機関	13.80%
その他の法人	22.66%
外国法人等	3.14%



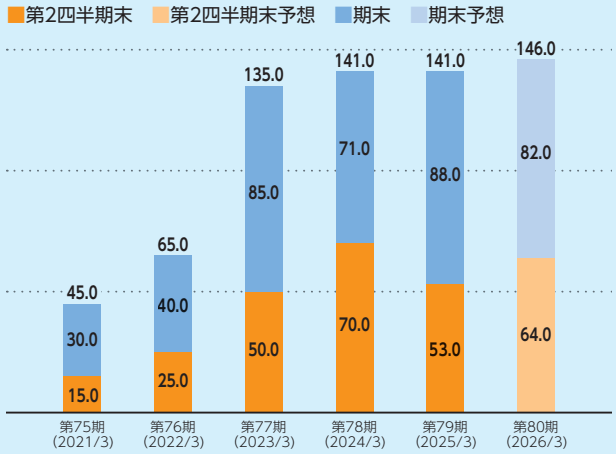
所有株数別株式分布状況

10単元未満	13.15%
10単元以上	5.16%
50単元以上	4.06%
100単元以上	17.42%
500単元以上	15.01%
1,000単元以上	20.28%
5,000単元以上	24.92%



1株当たり配当金の推移

（単位：円）



株 主 メ モ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	**期末配当金**　3月31日 **中間配当金**　9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関する各種手続の申込先について

・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。
ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。

・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。

同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 ☎ 0120-232-711（通話料無料）
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載 URL https://www.rix.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 福岡証券取引所

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

●割当基準日	3月31日
●優待内容	
100株以上300株未満所有の株主様	⇨ クオカード　1,000円分
300株以上500株未満所有の株主様	⇨ クオカード　2,000円分
500株以上1,000株未満所有の株主様	⇨ クオカード　3,000円分
1,000株以上10,000株未満所有の株主様	⇨ クオカード　4,000円分
10,000株以上所有の株主様	⇨ クオカード 10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

https://www.rix.co.jp/

リックス株式会社　　検 索

RIX リックス株式会社
〒812-8672
福岡市博多区山王一丁目15番15号
TEL (092) 472-7311

UD FONT

FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C022915 www.fsc.org

VEGETABLE OIL INK

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。